

《参考》

平成30年4月1日基準までの 土木積算システム2016（新積算システム）における 軟弱地盤技術解析業務の端数処理について

平成30年4月1日基準までは、軟弱地盤技術解析業務における検討断面が複数になる場合の補正の端数処理は、積算システムでは以下のとおりの考え方で積算しています。

軟弱地盤技術解析業務

$$S = A \times R$$

S ：設計歩掛（補正後の歩掛）

《少数第3位（少数第4位四捨五入）まで算出》

A ：標準歩掛

R ：割増率（検討断面が複数になる場合の補正）

《端数処理なし》